

# 人口推移から見る地域 ～国勢調査では人口が減っているが～

平成27年10月1日を調査期日に平成27年国勢調査が実施され、京都府の人口が確定しました。

その結果を、平成22年国勢調査を基に推計された将来推計人口と比べると、人口減少が特に問題となっている北部地域でも、予想されていたよりも減少の少ない自治体が見受けられました。その自治体の一つである福知山市の傾向を見てみましょう。

## 市町村別における国勢調査人口と将来推計人口

	平成27年(2015年) 国勢調査による人口 (人)	将来推計人口による 2015年人口(人)	国勢調査人口と 将来推計人口との 差の割合(%)
久御山町	15,805	15,281	3.43
福知山市	78,935	76,734	2.87
大山崎町	15,181	14,860	2.16
京田辺市	70,835	69,815	1.46
京都市	1,475,183	1,472,803	0.16
綾部市	33,821	33,785	0.11
⋮	⋮	⋮	⋮
舞鶴市	83,990	85,270	△ 1.50
宇治市	184,678	188,164	△ 1.85
和束町	3,956	4,093	△ 3.35
南山城村	2,652	2,794	△ 5.08
笠置町	1,368	1,465	△ 6.62

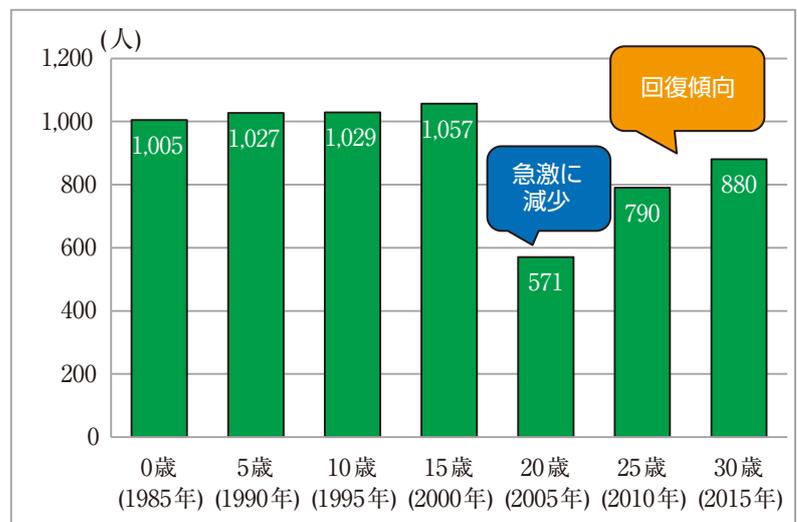


将来推計人口とは・・・国立社会保障・人口問題研究所が公表している、平成22年国勢調査を基に、平成22年10月1日から平成52年10月1日までの30年間(5年ごと)について、男女年齢(5歳)階級別の将来人口を推計したものです。

## 福知山市の特徴的な人口変化

福知山市では15歳から20歳になる間で人口減少が顕著に表れているね・・・大学進学等で他の市町村へ出ているのかな？

だけど、その後20歳から30歳にかけて人口が回復傾向にあるね！就職を機に人が入ってきているのかな？



※各年の年齢不詳は各歳別の人口比で按分した

1985年に0歳の人口が、5年経過した1990年に5歳となった時の人口など、2015年(30歳)までの人口変化を5年ごと(国勢調査年ごと)について表したものの